

2 循環型社会の推進（自然共生部）

（1）岐阜市分別収集計画

容器包装リサイクル法の施行に伴い、容器包装廃棄物の分別収集を実施するにあたって5年を一期とする岐阜市分別収集計画(平成9年4月始期)を策定し、3年ごとに見直しを行なうこととしています。

現在の計画は、平成26年4月を始期として平成30年度末までの5年間の計画期間としています(平成25年6月に改定しました)。

容器包装リサイクル法に関する10品目の容器包装廃棄物のうち、その他プラスチック製容器包装以外(ペットボトルのキャップ、柳津地域での行政収集を除く)の9品目については、ビン・カン・ペットボトルの行政収集及び自治会や市民団体が実施する集団回収による収集体制が整っています。

ペットボトルは、平成27年度は指定法人である(財)日本容器包装リサイクル協会のルートにより943t(出荷重量)が再資源化されました。

白色トレイについては、現行のトレイ回収協力店による拠点回収体制の拡充に加え、平成16年10月から市による定期収集(発泡スチロールを含む)を開始しました。

（2）環境推進員

環境推進員設置要綱(平成9年制定)により、50自治会連合会毎に3～4人(計181人)の「環境推進員」を2年の任期で委嘱し、地域におけるごみ減量や資源リサイクル活動の推進など行政と地域住民とのパイプ役としての活動をお願いしています。

（3）資源分別回収

従来から市民運動として行なわれていた紙・繊維・金属など、再生できる資源の集団回収を全市域で実施するため、昭和58年度から「資源分別回収事業」として奨励制度を発足させました。

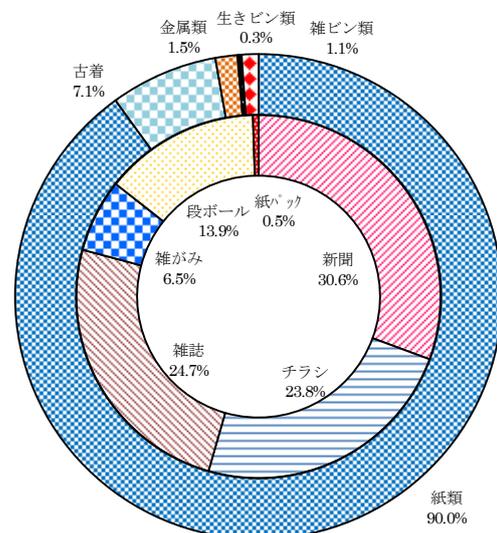
この事業は、自治会連合会を単位に原則として月1回、自治会・婦人会・PTA・子ども会・老人クラブなどの実施団体が回収を行うもので、回収品目は「紙類」・「古着」・「カン・フライパン類」・「生きビン類」・「雑ビン類」の5種類です。

平成9年度からは自治会連合会に奨励金を交付しており、平成26年度から均等割額3万円と実績割額として回収重量1kgにつき6円、雑がみは回収重量1kgにつき8円を支払っています。

また、平成24年度から自治会連合会と協力して「古紙回収用ボックス」を順次設置しており、平成27年度からボックスを設置した自治会連合会に活動割額として月額2,500円を支払っています。

このほか、集積場所の品目板及び実施チラシなどの物品助成も行なっています。☆平成27年度は、市内全50地区において833回実施され、回収量は9730tでした。

資源回収品目組成（平成27年度）



■平成27年度実施団体別回収内訳

実施団体		自治会	PTA	婦人会・	子ども会	各種団体	その他	合計
				女性の会				
回数		503	117	18	76	56	63	833
紙類 (kg)	新聞	1,234,912	542,420	78,910	303,780	272,770	248,100	2,680,892
	チラシ	927,762	434,330	59,330	247,800	217,800	199,360	2,086,382
	雑誌	1,005,304	414,270	68,150	248,820	226,740	199,980	2,163,264
	雑がみ	274,238	106,270	17,650	70,090	52,350	50,360	570,958
	段ボール	567,293	222,890	40,770	140,000	126,710	115,160	1,212,823
	紙パック	21,041	8,910	960	4,720	3,850	2,870	42,351
	紙類計	4,030,550	1,729,090	265,770	1,015,210	900,220	815,830	8,756,670
古着類 (kg)		311,310	140,510	22,190	78,720	79,220	63,180	695,130
カン・フ ライパン類 (kg)	アルミ	8,844	2,746	265	772	1,630	6,852	21,109
	金属屑	53,380	25,190	5,010	16,350	10,630	12,120	122,680
生き	数量(本)	13,589	4,953	891	3,844	3,517	3,240	30,034
ビン類	重量(kg)	12,432	4,354	860	3,120	3,190	3,137	27,093
雑ビン類 (kg)		56,278	18,085	3,290	11,940	7,850	9,543	106,986
合計 (kg)		4,472,794	1,919,975	297,385	1,126,112	1,002,740	910,662	9,729,668

■回収量の推移

単位 (t)

年 度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
紙類	13,142	11,813	10,676	9,644	8,757
古着類	1,419	1,312	1,205	855	695
金属類	164	158	154	148	144
生きビン類	39	35	34	31	27
雑ビン類	123	119	122	112	107
合計	14,887	13,437	12,191	10,790	9,730

■平成27年度自治会連合会別回収実績

校区	人口 (H27.4.1現在)	実施回数 (回)	総回収量 (kg)	売却金額 (円)	一回あたりの 平均回収量 (kg)	1人あたりの 平均回収量 (kg)
金華	5,041	12	246,800	609,056	20,567	49.0
京町	4,281	13	230,030	590,321	17,695	53.7
明德	3,342	12	148,560	383,085	12,380	44.5
徹明	4,669	12	183,130	462,467	15,261	39.2
白山	5,891	24	143,160	411,558	5,965	24.3
梅林	6,726	24	261,360	679,146	10,890	38.9
本郷	6,814	12	222,150	565,138	18,513	32.6
華陽	7,591	12	264,320	674,358	22,027	34.8
木之本	6,143	12	146,919	354,722	12,243	23.9
本荘	11,372	25	305,740	769,742	12,230	26.9
日野	7,635	21	180,630	462,279	8,601	23.7
長良	7,104	12	151,940	753,699	12,662	21.4
長良西	13,397	14	393,240	1,046,150	28,089	29.4
長良東	10,826	12	289,900	714,100	24,158	26.8
島	11,921	24	245,223	634,172	10,218	20.6
早田	9,981	16	182,917	466,703	11,432	18.3
城西	8,252	24	229,109	580,821	9,546	27.8
三里	13,718	25	250,740	622,432	10,030	18.3
鷺山	10,344	13	266,180	809,520	20,475	25.7
加納東	7,109	24	276,440	973,044	11,518	38.9
加納西	7,715	24	348,260	880,597	14,511	45.1
則武	8,794	12	205,590	518,780	17,133	23.4
常磐	6,608	12	112,160	268,805	9,347	17.0
長森南	14,254	21	244,780	622,864	11,656	17.2
長森北	6,551	24	140,441	364,236	5,852	21.4
長森西	8,289	12	160,970	393,773	13,414	19.4
長森東	7,072	12	196,490	510,446	16,374	27.8
木田	3,000	24	92,410	253,296	3,850	30.8
岩野田	7,527	12	174,870	456,686	14,573	23.2
岩野田北	7,943	16	141,700	415,496	8,856	17.8
黒野	11,859	12	244,500	605,314	20,375	20.6
方県	2,739	12	83,780	195,092	6,982	30.6
茜部	12,642	16	167,720	473,039	10,483	13.3
鶉	11,401	12	118,770	302,356	9,898	10.4
西郷	8,779	12	116,960	304,479	9,747	13.3
七郷	11,055	24	168,872	424,750	7,036	15.3
市橋	13,791	12	186,530	476,562	15,544	13.5
岩	5,000	12	135,800	320,013	11,317	27.2
鏡島	12,878	12	319,420	856,568	26,618	24.8
厚見	13,643	21	292,026	760,946	13,906	21.4
日置江	4,594	24	125,266	336,516	5,219	27.3
芥見	7,976	20	208,350	506,533	10,418	26.1
芥見東	6,392	25	216,210	531,516	8,648	33.8
芥見南	3,207	24	75,910	203,578	3,163	23.7
藍川	6,677	12	233,770	593,760	19,481	35.0
合渡	6,380	24	116,545	285,111	4,856	18.3
三輪南	9,280	12	239,400	980,288	19,950	25.8
三輪北	2,693	6	94,690	385,632	15,782	35.2
網代	2,055	5	59,510	151,389	11,902	29.0
柳津町	13,031	24	89,480	471,217	3,728	6.9
合計	405,982	833	9,729,668	26,412,151	11,680	24.0

(4) 生ごみの減量

①生ごみ有機肥料化促進補助(ボカシ)

「ボカシ」とは米ぬか、もみ殻、魚粉、糖蜜等に有効微生物群EMを混和して乾燥した資材で、生ごみを発酵させ、堆肥化します。

生ごみ有機肥料化促進補助制度は、「ボカシ」を使用する者で構成する登録団体に対して、ボカシ100gにつき20円、ボカシ処理容器1個につき購入価格の2分の1の額(ただし、900円を限度)の補助金を交付します。☆平成27年度は登録団体が購入したボカシ1,778,500g、処理容器12個に対し364,500円の補助金を交付しました。

ボカシの利用による減量効果としては、296世帯が利用し約44t(1世帯あたりの生ごみ排出量を150kg/年として計算)の生ごみが減量されたものと推定されます。

ボカシ等補助実績

年 度 (補助金額)	ボカシ購入実績 (g)	ボカシ処理容器 (個)	補助金額 (円)
平成19年度	3,882,300	69	680,750
平成20年度	4,673,700	127	854,110
平成21年度	4,223,000	112	905,089
平成22年度	3,389,000	78	718,637
平成23年度	2,961,500	96	636,630
平成24年度	2,978,000	62	626,100
平成25年度	2,636,500	52	551,800
平成26年度	2,092,500	27	431,300
平成27年度	1,778,500	12	364,500

②電気式家庭用生ごみ処理機購入補助

「電気式家庭用生ごみ処理機」には生ごみを温風乾燥させ減容する温風乾燥方式と、微生物や培養機材を用いて生ごみを分解する分解方式があります。

補助制度は、処理機を自ら購入する市民で、適切かつ安全に使用及び管理ができ、処理物を環境衛生上支障がないように自家処理できる人に対し、購入金額の2分の1(ただし、20,000円を限度)を補助する制度です。

なお、この補助制度は、補助台数が減少傾向にあるなど、一定の周知は図られたと推定されるため、平成18年度をもって終了しました。

また、補助金受給者の利用実態を調査したところ(平成22年度)、約4割の方が処理機を継続して利用していることがわかりました。このことから、電気式家庭用生ごみ処理機による減量効果として、約1,800世帯が利用し、約270t(1世帯あたりの生ごみ排出量を150kg/年として計算)の生ごみが減量されていると推定されます。

生ごみ処理機購入補助実績

年 度	補助台数 (基)	補助金額 (円)
平成10年度	411	11,276,580
平成11年度	802	21,172,840
平成12年度	1,369	27,268,680
平成13年度	641	12,718,870
平成14年度	301	5,915,810
平成15年度	244	4,799,080
平成16年度	210	4,151,600
平成17年度	202	3,977,480
平成18年度	284	5,581,830
合 計	4,464	96,862,770

③ダンボールコンポスト講座

ダンボールコンポストは、ダンボールの中に入れた基材で生ごみを分解して堆肥化するもので「臭いが比較的少ない」、「出来る堆肥の量が少なく利用先に困らない」ことが特徴です。こ

れまで、家庭での生ごみの資源化が難しいとされている集合住宅などでも手軽に実施できるため、市民団体と協力して講座を開催し積極的に啓発しています。

☆平成27年度は49回導入講座を開催し691名の方が参加しました。

④生ごみ堆肥化推進事業の経緯

家庭内での自己処理に加え、地域での生ごみリサイクルシステムとして新たな生ごみ堆肥化システムの構築を目指し、平成11年度から「生ごみ堆肥化調査モデル事業」に着手しました。モデル地区として加納西、京町、藍川、常磐、三輪南の5地区を選び、試験的に生ごみの収集から堆肥化を行なうもので、ボカシ・密閉容器・専用袋を使って、各家庭で一次処理(発酵)した1週間分の生ごみを集積場所の大型回収容器へ出してもらい、それを市が委託し

たNPO法人「環境浄化を進める会岐阜」が収集し、機械処理で堆肥を製造しました。

その後新たにモデル地区を追加し、既存の地区での拡大を図るとともに、生ごみを分別排出しやすい方法や、堆肥の商品価値等の調査研究の精度を更に向上させるための検証、システム構築のための項目を更に詳細検討等を行なってきました。平成14年度には、モデル事業を「生ごみ堆肥化推進事業」と名称変更して継続するとともに、堆肥化施設を掛洞プラントに移し、ごみの分別・減量を啓発しています。

☆平成27年度は、7地区1団体1,331世帯の参加により、約101tの生ごみを堆肥化しました。また、市内の農業生産法人の協力により、生ごみ堆肥を利用したお米を生産販売し、「生ごみの地域循環の確立」を目指した取り組みを行っています。

■生ごみ堆肥化推進事業実績

地区名	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
	世帯数	収集量(kg)								
三輪南(計)	195	16,065	363	23,350	370	29,110	369	26,100	364	24,220
太郎丸団地	48	3,245	49	3,495	51	3,740	50	3,100	50	3,045
福富団地	147	12,820	146	12,385	151	11,320	151	10,740	146	10,340
福丸団地			168	7,470	168	14,050	168	12,260	168	10,835
加納西	257	23,380	241	23,265	233	20,750	220	18,100	220	16,620
藍川	142	12,170	137	13,270	135	12,810	131	10,480	127	10,250
京町	269	23,070	267	26,270	266	23,500	257	21,950	255	21,030
常磐	152	11,980	151	10,380	151	9,160	152	9,120	146	9,915
芥見東	148	15,380	133	14,840	133	13,030	127	11,580	127	11,140
長良西	80	8,090	81	8,050	77	7,540	78	6,755	77	6,400
ふじの木(団体)	15	1,635	15	1,705	15	1,570	15	1,555	15	1,515
合計	1,258	111,770	1,388	121,130	1,380	117,470	1,349	105,640	1,331	101,090

(5) 事業系ごみの減量**～事業者による取り組み～****①事業系一般廃棄物減量対策**

年間ごみ処理総量の約30%を占める事業系ごみ減量のため、市内事業所に対し計画的なごみ減量と資源化の推進を指導啓発しています。

「事業用建築物における一般廃棄物の減量及び適正処理に関する指導要綱」を制定(平成11年7月)し、大規模事業所を対象とした「廃棄物管理責任者の手引き」を作成、「廃棄物管理責任者」の選任と「一般廃棄物減量計画書」の提出を義務付け、要綱に基づいた減量指導を行なっています。平成27年度における「一般廃棄物減量計画書」の提出事業所数は188件で、平成26年度資源化率(実績)は48.6%でした。

平成25年度より占用面積500㎡を超える事務所・小売店も対象に加え、平成27年度は178件の事業所に「一般廃棄物減量計画書」の提出を求めました。

また、ごみ減量・リサイクル推進事業所(G・R事業所)認定制度を運用しています。平成27年度末における認定数は14事業所です。

②ごみ減量・リサイクル推進協力店事業**～G・Rマークの店～**

平成4年度から、ごみ減量・リサイクルに自ら積極的に取り組む市内の小売店を「G・Rマークの店」として登録し、消費者に愛される環境にやさしい店づくりを広めていくことにより、市民あげてのごみ減量運動の展開追加を図ってきました。

平成9年度からは、モデル事業として「岐阜市トレイ回収協力店」、平成1

4年度には、「岐阜市リサイクル商品取扱推進店」を募集し、これらを合わせて「G・Rマークの店」として認定する制度に見直しました。この制度は、その後の「個別リサイクル法」の制定・施行や、リサイクル商品の一般化により平成20年度から「岐阜市トレイ回収協力店」のみに整理されました。

一方、平成19年度には、容器包装廃棄物等の減量や資源化等環境負荷の少ない活動を進める事業所を「エコ・アクションパートナー協定店」として市と協定を結ぶ制度を設けました。また、平成24年度から「岐阜市トレイ回収協力店」の活動をこの制度に組み込みました。

③はがきのリサイクルグリーンボックス事業

平成10年度から、郵便局(現郵便局㈱)と市が共同ではがき専用の回収ボックスを設置しました。回収したはがきは製紙工場で溶解処分し、再生トイレットペーパーの原料としています。
設置場所：市内各郵便局

市役所本庁舎・南庁舎
各事務所・柳津地域振興事務所
市ステーションプラザ(JR岐阜駅構内)
ハートフルスクエアG
柳津資源ステーション

平成27年度実績：1,964.1kg
654,700枚

④トレイ回収協力店事業

容器包装リサイクル法の対象品目である発泡スチロール製トレイについては、平成12年度から市内の食品系スーパーマーケット等に対し、自主回収を協力依頼しています。

平成27年度の協力店(55店)の報告回収量は、約56tでした。

⑤使用済みインクカートリッジ事業

インクカートリッジメーカー等が行うインクカートリッジ里帰りプロジェクトとして、専用回収ボックスを設置し、使用済みインクカートリッジを回収しています。

回収されたインクカートリッジはメーカーにおいてリサイクルされます。

(6) リサイクル推進事業**①夏休み親と子の学習会****(ごみ処理・リサイクル施設見学)**

ごみ処理やリサイクルについて親子で考える機会としてもらうため、小・中学生とその保護者を対象にごみ処理・リサイクル施設の見学会を実施しました。

実施日：平成27年8月4日

平成27年8月6日

参加者：子供35人、保護者25人

見学先：東部クリーンセンター

芥見リサイクルプラザ

大杉一般廃棄物最終処分場

岐阜市リサイクルセンター

②リサイクル学習バス(ビック・アクション号)

地域が主体となってごみ減量・リサイクルの推進を図るため、ごみ処理施設などの見学会に、平成8年度から各自治会連合会にバス1台の借上料を支援し、平成27年度は11地区で実施し、444人が参加しました。

③ごみ減量・リサイクル講座

職員が、ごみ減量と資源化の状況や手法などについてのお話をします。ごみに関する理解を深めていただき、さらに積極的な取り組みをお願いしています。

☆平成27年度は、119回実施しました。

④小学生社会科副読本

小学4年生の社会科学習資料として、ごみ処理の内容をわかりやすく説明した副読本「ごみとわたしたち」(第32版、A4版、カラー刷、28ページ、4,100部)及び「教師用指導資料」(A4版、37ページ、A3版、2ページ、300部)を作成し、「ごみとわたしたち」は市内の小学4年生全員に配布しました。

⑤ごみ1/3減量大作戦ポスターコンクール

小・中学生から、ごみ減量・資源リサイクルをテーマにポスターを募集し、審査の結果入賞作品37点を「岐阜市まるごと環境フェア」で展示したほか、市庁舎1階市民ホールでも展示を行いました。

また、優秀作品をもとに啓発ポスターを作成し、市内小・中学校等公共施設に掲示しました。

⑥ごみ1/3減量活動支援

地域が主体となって取り組むごみ減量・資源リサイクル活動に対し、啓発用物品を貸与するなどの支援をしました。

⑦岐阜市まるごと環境フェアの開催

「環境と調和する、人にやさしい都市岐阜」の創造に向け、全ての市民が「ぎふの環境」への思いを新たにし、一人ひとりが、人と自然が共生するまちづくりへの行動を始める契機とするため、市民参加型の環境啓発イベント「第14回岐阜市まるごと環境フェア」を開催しました。

開催日：平成27年11月8日・14日・21日・22日

場 所：岐阜大学サテライトキャンパス、JR岐阜駅南口駅前広場、みんなの森ぎふメディアコスモス

来場及び参加人数：約7,500人